

令和 6 年度学長裁量経費採択課題（詳細内容）

教職実践力向上重点研究費

公募分野	代表者		テーマ
1	心理講座	増山 晃大	子ども，保護者，支援者向けの緊急対応のための心理教育資料の開発と評価
プロジェクト概要		本プロジェクトでは，今後社会実装が予定されている，災害や紛争などの有事の際の心のケアの指針となる心理教育資料の日本語版作成を行う。心理教育の対象は子どもの心のケアに関する要点にとどまらず，保護者，教員，支援者自身の心のケアも含まれる。	
研究の目的		本研究の目的は，災害や紛争等の有事において，子ども，保護者，および対人支援職を対象とした心理的ケアを支援する心理教育資料を，科学的根拠と文化的妥当性に基づいて日本語で開発・整備することである。これにより，有事の初期段階における心理的負担を軽減し，セルフケアおよび支援者支援の観点から「心理的減災」に寄与することを目指した。	
研究の方法		本研究では，以下の3種の心理教育資料（トラウマ体験への対処法，保護者と支援者のためのヒント集，支援者支援）を対象とした。 1. 翻訳と文化適応：原著資料の日本語化にあたり，専門家による翻訳・編集を行い，さらに第三者によるバックトランスレーションを実施し，原著者との照合を通じて表現の妥当性と意味の整合性を確保した。 2. 実践的な妥当性の確認：完成した草稿に対して，実際の利用を想定した一般成人を対象に試読とインタビュー調査を実施し，表現の明瞭性・理解度・共感性などを評価した。 3. 資料整備と公開準備：A4判のPDF資料として視認性と実用性を高めたレイアウトで編集し，同時にオンライン公開に向けたウェブ構築を進めている。	

研究の成果

本研究においては、トラウマ体験への対処法、保護者と支援者のためのヒント集、そして支援者支援に関する3種の心理教育資料について、日本語版の開発と調整を段階的に進めた。いずれの資料も、エビデンスに基づく心理支援の国際的な原則を踏まえつつ、日本社会における文化的背景や表現様式に即した内容となるよう、慎重に翻訳と編集を行った。その過程では、内容の忠実性と表現の自然さを両立させるために、原文からの直接翻訳だけでなく、心理学的専門知見に基づく意識や補足も適宜取り入れた。翻訳後は、第三者による英語へのバックトランスレーションを実施し、原著者との間で複数回の照合と確認作業を行った。その結果、翻訳表現に関して最終的な合意を得ることができ、資料の構成および記述内容が原典の意図に忠実でありながら、日本語としても分かりやすく自然な仕上がりであることが確認された。

さらに、実際の利用を想定した初期評価として、一般成人に資料を提示し、内容の明瞭性、構成の分かりやすさ、心理的受容性などについてフィードバックを収集した。いくつかの具体的な改善意見（たとえば、文章のトーンの柔らかさや図の見やすさに関する提案）については反映を行い、より視認性と実用性の高い形にブラッシュアップした。

現在、本資料群についてはA4判のPDF形式として整備を完了しており、印刷・配布が可能な状態にある。並行して、これらの資料をオンライン上で一般公開するためのウェブサイト構築も最終段階に入っており、今後数ヶ月以内に一般公開を予定している。